

吉田地区

No.	分野	地区別	質問・意見・要望等	議員と語ろう井戸端会議当日の議員回答内容	後日担当課回答	担当委員会
1	地域交通	吉田	駅にあるバスターミナルの待合所について。土日に閉まっている。暑い夏や寒い冬に待合室は必要。開けてほしい。	総務文教委員会でもそのことは取り上げている。人材の不足などが理由と聞いている。要望は担当課に伝える。	駅待合所について運営事業者である石見交通(株)へ問合せを行ったところ、「窓口業務は石見交通から委託を受けた石見エアサービスが行っており、3名でシフトを組んでいたが1名が退職したため現在の開所状況になっている。求人を行っているが応募がない。応募がありシフトが組める状況になれば土日についても再開していきたい」とのことであった。引き続き土日の窓口業務再開への要望があることを事業者に伝える。	総務文教
2	地域振興	吉田	モバイルプランナーをやっている。公民館でスマホの使い方について勉強できる場を作った。そういった場に、高齢者や育児中のお母さんなど、幅広い層の方が来てくれた。外出の支援にもなったと思っている。スマホでできることが増えている。地域公共交通が縮小される一方で、スマホを活用して地域にいがらできることも増えてきているはず。保険証、マイナンバー、パスポート発行なども集約されてくる。スマホ中心の社会になっている。市も、私たちのような人を活用し、情報交換の場、買い物場、憩いの場を地域で作れるような取組をしてほしい。	勉強させていただいた。そういった取組を行っていることを様々な場面で周知していきたい。		総務文教
3	危機管理	吉田	新しく消防署が建設された。その近辺に住んでいるが、道が狭すぎて緊急車両が入れない状況になっている。	道を確認する。状況を担当課に伝える。	現状等の確認を行い、担当課（土木課）と協議を行っていきたいと考える。	総務文教
4	庁舎管理等	吉田	公用車が多い。CO2削減というならば、2キロ圏内くらいは自転車で動くべきだ。	市としても、電気自動車の導入など様々な手法でCO2削減に取り組んでいる。自転車となると、業務にこれまで以上に時間がかかるなど、効率のことを考えると難しいと思うが、担当に伝える。	益田市の重要施策としてカーボンニュートラルの推進に取り組んでいる。業務の効率化を踏まえ、公用車を利用している。公用車の台数については、令和6年度に公用車の電気自動車の導入に向けて基本方針を定め、今後順次電気自動車等を導入していくのに並行して、現行の保有台数の適正化を図っていく。	総務文教
5	選挙	吉田	市長選と市議選を合わせたほうがいい。経費も浮く。投票率も上がる。	課題としては認識している。担当課に伝える。	地方自治法で、普通地方公共団体の長及び議会の議員の任期は四年と定められており、任期満了に因る選挙は公職選挙法で、任期が終わる日の前三十日以内に行うと定められていることから、それぞれの任期で選挙を行うこととなる。 ＊現市長任期：令和10年8月1日 ＊現議員任期：令和 9年9月8日	総務文教
6	人事	吉田	CO2の削減といいながら、夜遅くまで市役所の電気がついている。早く帰るべき。	市に伝える。	夜間における時間外勤務については、その縮減を進めているところである。大雨や台風などの対応時には、夜遅くまで対応することがあるが、今後も職員が早く退庁できるよう取組んでいきたい。	総務文教
7	社会教育	吉田	オリンピックでスケートボードが注目された。議員がスケボー場の建設を市にお願いしたと聞いている。ぜひ実現させるべきだ。	執行部へ伝える。	関係者と協議を進めているところであり、可能性等について、引き続き検討していきたい。	総務文教
8	保険・年金	吉田	退職してから年金を受給するまでの間が苦しい。つなぎの年金制度のようなものを作ってはどうか。つなぎの部分は市として対応すべきだと思っている。	国の制度としての現状がある。大きな課題であり、費用もかかる問題であるため難しさがある。要望は担当課に伝える。	ご指摘のように、退職後の収入が途絶える期間は、多くの方にとって生活の不安を感じる重要な課題である。この課題に対する対応は、国が定める公的年金制度の枠組みの中での議論が必要であり、現時点では市単独での「つなぎの年金制度」の創設は難しい状況である。	福祉環境
9	保険・年金	吉田	年金について2カ月支給を1カ月にしてもらえないか。	国の制度のこと。難しさはある。ご意見は受けとめる。		福祉環境
10	子ども・子育て	吉田	人口減少の課題について。歯止めが利かない状況。お母さん方の若い世代に、どんなことをしたら子どもを産んでもらえるか、アンケートでもしたらどうか。	いずれの自治体にとっても大きな課題。市も企業誘致等、それぞれの分野で努力している。交通網の充実も必要ということも伝えている。お考えは担当課に伝える。	令和7年度に、「益田市総合振興計画（後期計画R8～12年度）」の策定に向け、住民アンケートを実施する予定としている。	福祉環境
11	地域医療	吉田	人間ドックの申し込みもデジタル。年寄りには難しい。ついて行けるよう、なんとかやっているが、出来ないことが増えてきている。	DXを進めるにしても、それに対応できない人のことを考えてもらえるよう伝えている。誰も取り残さないよう、紙などのアナログの対応も必要であることを改めて伝える。	人間ドックの申込については、郵送での申込をお願いしているが、利便性向上のためしめね電子申請サービスでの受付も行っている。やむを得ない場合は、電話または窓口でも受付る旨を広報ますだでご案内している。	福祉環境
12	高齢者福祉	吉田	補聴器の助成を拡充してほしい。非常に高い買い物なので、補助率なども上げてほしい。	予算が残る状況になっている。対象者や金額の拡充を求めていることを伝える。	助成対象者へ購入半年後の使用状況や生活の変化等アンケートを実施する中で、補聴器を装着する効果を確認している。 補聴器が高額な機器であること、購入後も定期的なメンテナンスが必要であることは理解している。 助成事業を開始し、2年が経過するが、現在、事業内容を見直す予定はない。同様の事業を実施している他の自治体の実施状況等を参考にしながら、事業のあり方について検討していきたい。	福祉環境